

待機的右側結腸切除術後の縫合不全の予測因子の検討

■ 研究の対象

2012年4月1日から2019年12月31日までに当院で待機的な右側結腸切除術を受けられた方

■ 研究目的・方法

結腸腫瘍などに対する結腸切除術の術後合併症のひとつに縫合不全があります。縫合不全は結腸切除術後の縫合不全の発生は6.4~7.5%と報告されています。回腸と結腸の吻合による消化管再建となるため、右側結腸切除術後の縫合不全は低率とされてきましたが、最近の文献では、3.2~8.4%と比較的高値と報告されています。待機的右側結腸切除後の縫合不全の予測因子は明らかではないため、具体的な縫合不全の予防法は確立されていません。右側結腸切除後の縫合不全の予測因子を調べるとともに、当科における縫合不全後の治療法および経過を調査することで、縫合不全を予防し、縫合不全が発症した場合でも適切な治療を行うことを目的として本研究を実施します。

■ 研究実施期間

220年4月14日~2023年3月31日

■ 研究に使用する情報

症例基本情報（手術時年齢、性別、生年月日、症例識別番号、身長、体重、BMI、ASA-PS、既往歴、嗜好歴、内服薬、癌のステージ、血液データなど）、治療情報（手術日、手術術式、術者名、手術時間、出血量、輸血の有無、麻酔方法、術後合併症の有無など）、術後の合併症や生存期間など。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 外科 高森啓史（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上